

# よもよも vol.2

「よもよも」は、ティーンズコーナーのおすすめ本を紹介していきます。

「百年文庫」ポプラ社

YA 908

漢字一文字をテーマに3人の文豪の短編を集めたシリーズです。(全100巻・順次受け入れ予定) まずは、好きな漢字のタイトルの本を手にとって見てください。知らない作者でも大丈夫。名短編ばかりなので、どれを読んでもハズレなし! きっとあなたにとって、素敵なお話との出会いがありますよ♪ 今回は、2巻目「絆」の内容をご紹介します。

## 「絆」 海音寺潮五郎／コナン・ドイル／山本周五郎

けんかするほど仲がいい!? こいつとはもう一生口をきかない、と決めた男が巻き起こす珍騒動。老年を迎えた、二人の男たちの結末はいかに!? (海音寺潮五郎『善助と万助』)

新しい仕事を紹介された男は、恋人に「すぐ呼び寄せる」と約束をして海を渡って行った。数奇な運命に翻弄された二人の思いの行方は…? シャーロック・ホームズの著者がおくるロマンチックな一編。(コナン・ドイル『五十年後』)

才能に恵まれているのに、墮落していく孤独な男。そんな彼を信じて思い続けた一人の女性の死。男の再起を綴った物語の、驚くべきラストに思わずにやり!

(山本周五郎『山樁』)

堅苦しいと思いきや、意外と読みやすいお話がセレクトされていて、あまり読書をしないという子にもオススメです。読書感想文にも重宝しそうなこの百年文庫。ぜひ一度、試してみてもは?

他にも…

「妖」坂口安吾『夜長姫と耳男』／壇一雄『光る道』／谷崎潤一郎『秘密』

「恋」伊藤左千夫『隣の嫁』／江見水蔭『炭焼の煙』／吉川英治『春の雁』

「祈」久生十蘭『春雪』／チャペック『城の人々』／アルツィーバーシェフ『死』 などがあります。

# 「“文学少女”」シリーズ

YA Fノム

野村美月の「“文学少女”」シリーズは、お話の中にぐいぐい引き込まれると評判の大人気小説です。お話はもちろん、竹岡美穂さんのイラストも人気です。

## おおまかな **あらすじ**

純粋な少年が心くじけて、憂いをおび、人と関わるのが怖くなってしまふ。そんな彼の前に現れる、天真爛漫で天然な文学少女。悩んで苦しんで、逃げたり、向き合ったり。恋あり、謎あり、文学へのほとばしる愛情あり。という話です。もう少し詳しく言うと…

元・美少女覆面作家<sup>みくめんさっか</sup>で、過去に大きなトラウマを持つ高校生・井上心葉<sup>このは</sup>(男)は、物語を食べちゃうくらい愛している(本当に本を食べる)文学少女の天野遠子<sup>あまのとおこ</sup>の秘密を知ってしまったことから、彼女が部長をつとめる文芸部に強制入部させられることに。遠子先輩にふりまわされ、毎日まいにち三題噺を書かされつつも、さまざまな事件にかかわることになり…。

実在の小説をもとに展開する物語。1冊読むだけで、普段は手に取らないような有名な文学作品を読んだ気になれます。それだけでなく、遠子先輩がうっとりとする小説の魅力を聞けば、その本も読みたくなってしまふこと間違いなし！の、一石二鳥？なお得なシリーズなのです。この本をきっかけに、あれもこれもと、いろいろ読んでみてください！

本編だけでなく、番外編や外伝も充実。「恋する挿話集」①～④や「“文学少女”見習いの」シリーズ(全3巻)もあります。そして、今年5月に発売された「半熟作家と“文学少女”な編集者」で、“文学少女”は完結しました。けっこう長いシリーズ物ではありますが、読み出したら止まらない！まずは、本編から手にとって見てください。

## 各タイトルとあらすじ + 題材となった文学作品

### 1 「“文学少女”と死にたがりの道化<sup>ピエロ</sup>」

≡ 「人間失格」 太宰 治 Fダザ

「あたしの恋を叶えてください！」と、なぜか文芸部にきた一通のお手紙。後輩の女の子の片思いを叶えようとはりきる遠子先輩に命じられ、恋文を代わりに書くことになった心葉ですが…。

### 2 「“文学少女”と飢え渴く<sup>飢渴</sup>幽霊<sup>幽霊</sup>」 ≡ 「嵐が丘」 エミリー・ブロンテ Nプロ

文芸部の「恋の相談ポスト」に入れられた謎の数字や文字が書かれた紙片。文芸部への挑戦だわ！と息巻く遠子先輩は心葉を巻き込んで夜の学校に忍び込み…。

遠子先輩の弟的存在で、愛憎あふれる激しい恋愛を好む、女たらしの流人も登場です。

### 3 「“文学少女” と繋がれた愚者」

≡ 「友情」 むしゃのこうじ 武者小路 さねあつ 実篤 Fムシ

図書室で借りてきた本が、切り裂かれ、ページが欠けていた！  
犯人を捜すべく暴走する遠子先輩に巻き込まれ、なぜか文化祭で劇をすることになった心葉とクラスメイトの芥川君。優等生と言われている彼の、心の闇を垣間見た心葉は…。

### 4 「“文学少女” と穢名の天使」

≡ 「オペラ座の怪人」 ガストン＝ルルー Nルル

遠子先輩のまさかの休部宣言！その理由にあきれつつも、寂しさも感じる心葉。一方、心葉のことを一途に想いつづけるクラスメイトのななせは、突如姿を消してしまった音楽学校に通う親友・夕歌を探していた。謎の人物の特別レッスンを受け、オペラの主役に抜擢された夕歌の消えた理由は…。

### 5 「“文学少女” と慟哭の巡礼者」

≡ 「銀河鉄道の夜」 宮沢 賢治 Fミヤ

もうすぐ遠子先輩は卒業する。寂しく思いながらも、ななせとの距離を縮める心葉。ところが、入院したななせを見舞いに行った病院で、過去の苦しくて哀しい思い出、一時も忘れることのできなかつた少女と再会し…。

### 6 「“文学少女” と月花を孕く水妖」

≡ 「夜叉ヶ池」「草迷宮」「外科室」 いずみ 泉 きょうか 鏡花 Fイズ

夏休み。悪い人にさらわれたから助けに来て、と言う遠子先輩からの電報を受け、姫倉の別荘へ迎えに行くことになった心葉。その別荘には、昔、「令嬢」「学生」「妖怪」にまつわる惨劇があったらしく……。幻想的で夢のような、ひと夏の思い出。怒濤のラストを盛り上げる番外編です。

### 7 「“文学少女” と神に臨む作家」上・下

≡ 「狭き門」 シッド Nジツ

自称・文学少女の遠子先輩と出会って二年。卒業の日は刻々と迫る。そして、突然の裏切り。流人は言う。「天野遠子は消えてしまう」。空っぽの家に残るのは、切り刻まれた制服だけ。消えてしまった遠子先輩。心葉は遠子を探しあてることができるのか…!?

“文学少女”の物語、感動の最終巻。

勝手に

# 装丁大賞！

やってまいりました！第2回勝手に装丁大賞！第1回とうって変わって今回は写真的

装丁(造語ですのであしからず…)です。 第2回受賞作はこちら↓

## 「初恋ソムリエ」初野 晴 YA Fハツ

内容は吹奏楽部に新入部員を入れるために奮闘する主人公達が、次々に起こるトラブルを解決していく“青春<sup>プラス</sup>+ちょこっとだけミステリ”連作短編集です。シリーズ名にもなっているハルタとチカの名コンビの芸人的やりとりに笑ってしまうこと間違いなし！そして、どの話も深く考えさせてくれることがテーマになっていて、油断して読んでいるとウルウルしちゃうので気をつけて！

ちなみに“ハルチカシリーズ”は3巻まで出てるのですが、大賞に選んだのは『初恋ソムリエ』(2巻)。そのワケは、思わずニマニマしちゃう装丁だからです！一世代の場面をこっそり後ろから見ている気分でドキドキ、ハラハラ…そして頑張っ！って叫びたくなるこの感じがたまりません。この2人はどうなっちゃうの？って気になった方は是非手にとってもらいたいです。

あと、他作品『退出ゲーム』、『空想オルガン』や収録されている各短編(「周波数は77.4MHz」など)のタイトルにも注目です！ジャケ買いならぬ、タイトル買いかも？と思わせてくれる、ハルチカシリーズ。今後も目が離せません！